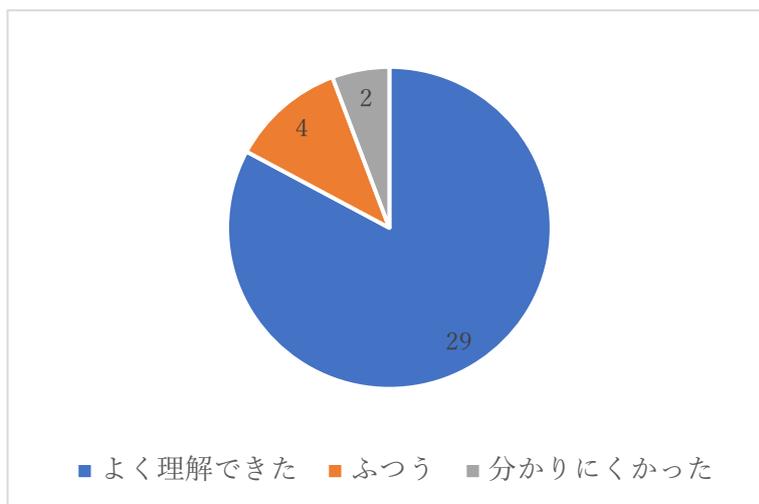


**第1部 講演の部の内容はいかがでしたか？**（参加者 72名 回答 35名 回答率 48.6%）



**第1部 講演の部のご感想をお聞かせください。**

◆大変分かりやすかったという感想（21名 以下主だったもの）

- ・先生の説明が図と動画を交えて自分の言葉で説明していただいたのでとても分かりやすかったです。
- ・がんと共に生きていけるようになった現在、がんリハビリテーションの重要性が理解できました。
- ・患者さんにはもちろんですが、そうでない人にも応用できるリハビリテーション(リラックス方法)を教えてもらえました。
- ・がんリハビリテーションには予防的なものもあり、治療に入る前から取り組むという新しい考え方は、とても参考になりました。

◆制度に関するご感想

- ・リハビリの重要性がよく理解できました。その一方で、リハビリができる期間は入院中の2週間のみで、外来ではできないのは残念に思います。患者が多すぎる、理学療法士が少ない、国の予算がないので病院の予算もないということだと思います。がん専門運動療法も実施している病院が限られていますし、費用も高いように思います。一般のジムなどでも、ノウハウを取り入れて、連携して運動療法ができるようになれば多くの方が参加でき体調の維持や向上につながると思います。国の介護保険も利用者が多すぎて余裕がないようなので、リハビリや運動療法などについては、一般のジムでもできるように、理学療法士までいかななくても、少し専門を勉強したトレーナーを増やし、広げていくことで、多くの方が近くのジムで、同じような運動療法を受けられるようになると思います。また、オンラインで実施することも可能だと思いますので、そのような施設も増えればと思います。
- ・田宮先生と木下さんの理解しやすい説明でわかりやすかったように思います。リハビリでも癌患者さんには、また特有のリハビリ方針があり専門知識も必要であると言う事でしたので、今後そのようなリハビリ師、施設が多く出てくることを願います。

2023年11月26日（日）オンライン公開講座

「あなたを支えます がんリハビリテーション ～いっしょに動いてみましょう！～」

・診断直後から緩和期まで、それぞれに必要なリハビリテーションがあるということを知れました。でも、それをしてくれる病院がどれだけあるか、ひっかかりました。

◆強く感じたこと

・大変丁寧に詳細にわたる講演を聞かせていただきました。最後の、終末期のリハビリで、がん患者の場合は2週間くらいが、と具体的な期間があがったところは、患者には残酷に聞こえたかもしれません。

・介護職で、在宅患者さんに接しています。確かに亡くなる2週間ほど前から急に体調の悪化される方が多いです。緩和的なリハビリテーションには、木下講師のお話にあった、小さい成功や尊厳の維持が大切なポイントと再認識しました。

◆ご要望

・リハビリの効果について、もっと説明なり解説等があれば良いと思います。（他1名）

・お話はすごく分かりやすかったし、体操の仕方のレクチャーもあり、とてもためになりました。予防的なリハビリというのは、あまり聞いたことがなかったので、どのようなことをするのか、もう少し詳しく聞いてみたいです。

◆自分自身の今後に向けて

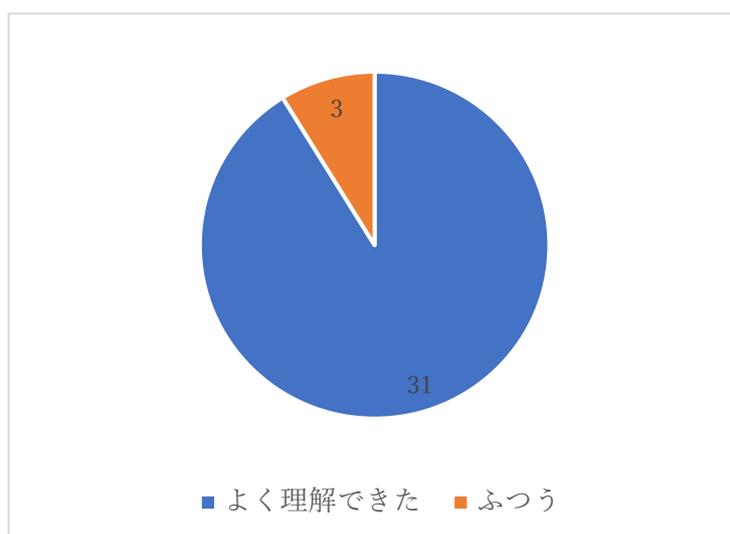
・母ががん闘病中です。治療のみ短期入院の繰り返しで普段は元気ですが、家族の心構えとして勉強になりました。

・なかなか運動ができていませんが少しずつやっっていこうと思いました

◆その他

・ルネサンスが始まった時から知っていたので現状を知りたかった

第2部『一緒に動いてみましょう！リハビリテーション患者体験』の内容はいかがでしたか？（参加者72名 回答34名 回答率47.2%）



## 第2部『一緒に動いてみましょう！リハビリテーション患者体験』のご感想をお聞かせください。

### ◆大変分かりやすかったという感想（23名 以下主だったもの）

- ・同じような悩みを持つ患者さんに共感しましたし、画面越しに励まし合えるような希望が持てました。
- ・先生を拝見して、患者の傍でアシストするやり方が少しつかめた気がします。
- ・実際に動き辛い患者本人の動作でしたので、説得力があったのでは、と思います。
- ・患者さんだけでなく、周りにいる家族や友人の立場からもとても参考になる体験指導でした。
- ・実際にリハビリテーション室で行われたことで、これから受ける方にとってもイメージできる内容になり、とても画期的な見せ方をしてくださったと思います。
- ・体験中の映像のカメラがすごくよかったです。ちょっとした動き方のコツがよく分かりました。
- ・自分にも応用できると思った。

### ◆講師へのことば

- ・亡妻も最期まで家事ができなくなったことを悔やんでいました。あの頃にこんな指導を受けられていたらと考えてしまいました。
- ・体験に出てくださいました患者さんに感謝します。患者側の実情と、支える療法士さんの熱意や具体的なアドバイスがよく理解できました。
- ・患者さんは、訪問の医師や看護師、療法士に言えない不満を私たちにおっしゃることがあります。木下講師のように患者の気持ちを受け止めて具体的に示して下さる療法士が増えれば、と思っていました。

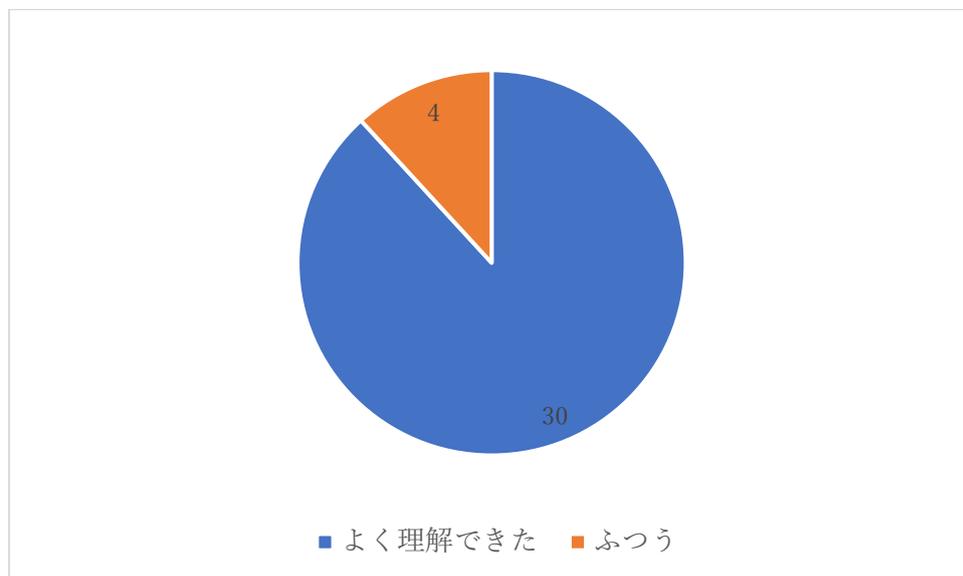
### ◆要望など

- ・リハビリを受ける患者さんの病状などの説明は、詳しくは言えないのでしょうか。（他1名）
- ・この日は骨転移の患者さん向けだったので、次の機会には、手術後のリハビリについて体験映像を見せて頂けるとありがたいです。

### ◆その他

- ・がんロコモの言葉を知りました。
- ・個別対応なので、施術者の技術が大切かと。
- ・もっと国際ガンセンターさんのような設備、プログラムの整った病院が増えていけばと思います。
- ・所用があり、第2部から観ることができませんでした。
- ・すみません、2部は参加できず早めに帰りました。

**第2部 体験後の質疑応答や、講師を交えた参加者の意見交換の内容はいかがでしたか？**  
**(参加者 72名 回答 35名 回答率 48.6%)**



**体験後の質疑応答や、講師を交えた参加者の意見交換のご感想をお聞かせください。**

◆大変よく分かったという感想 (13名 以下主だったもの)

- ・これまで知り得なかった多くの悩みがあることに触れることができ、これから先の慈善的寄り添い活動に大いに役に立ちそうです。
- ・リハビリテーション施設の雰囲気もわかり、全体的にわかりやすかったです。
- ・がんリハビリテーションの普及について、先生方の率直なご意見や提案、また大阪府の岩田さんも真摯に応えておられたことにも今後の希望を持ってました。
- ・癌闘病中の患者さんにはとりましてはリハビリの必要性、関心、を持っておられるのを思いました。また、それに答えてるべくリハビリの方や先生も前向きになられておられることを思いました。
- ・がん患者の社員や同僚との接し方を教えてもらえた。

◆能動的なご意見

- ・患者はきになること、やってみたいことなど遠慮せずつたえる当事者力が大切と痛感。
- ・足が十分動くのに、歩けるようリハビリしないのはもったいないという先生のおことばに涙が出ました。
- ・転移部の影響で杖を使うことが多いが、リハビリテーションによって改善できればうれしい。
- ・半分の確率でいつ自分ががんに罹るかもしれないなかで、貴重な予習ができました。
- ・意見交換というより、中身の濃いディスカッションのようで、時間があっという間でした。もっと聞きたかったです。
- ・本人が元気な今から、地域でリハビリテーションを受けられる良いところを探しておかないと

2023年11月26日（日）オンライン公開講座

「あなたを支えます がんリハビリテーション ～いっしょに動いてみましょう！～」

と感じました。

#### ◆開催方法への提案

- ・リハビリを受けた患者さん達同士の話し合いもあればどうでしょうか。
- ・患者同士体験後の感想を話し合うコーナーがあれば、観ている聴いている者に理解が進むのではと思います。

#### ◆制度改善を望む声

- ・がんリハビリテーションは、いつでもどこでも受けられると思い込んでいたので、制約があることに驚きました。改善していこうとされる、先生や行政の方の姿勢に期待していきたいと思います。
- ・ごく最近、妻が1ヵ月入院、人口膝関節手術を。退院に当たって、主治医からもリハビリ担当からも、一言の説明もなかったのには驚いた。リハビリは、小さなパンフだけ。
- ・講演で感じた、どこの病院でもこんなきめ細かいリハビリテーションが受けられるのかという疑問が、やはり話題になりました。保険医療？の改定などに民意は届けられるのでしょうか。
- ・今後は、医療と介護分野の連携がより一層重要であることが理解できました。
- ・リハビリテーションの現状について知らないことが多かったですが、必要な人がリハビリテーションを受けられるようになってほしいと思います。
- ・たくさんの質問に、講師のお二人で丁寧に答えていただき、ありがとうございます。がん患者の場合、出費はできるだけ抑えたい人が多いので、もっと低価格で運動が続けられる場所ができるよう、願っています。
- ・リハビリテーションの重要性をあらためて認識することができたと同時に、入院時しか受けられないという問題点は大きいと思いました。外来時でも保険算定できれば、クリニック等でも受けられるのではないのでしょうか。
- ・リハビリテーションが患者のQOLを高めることがよく分かりました。しかし外来で続けてできないのは残念です。制度の改善を望みます。

#### ◆その他

- ・質問時間を取ってもらっていたのですが、あっという間の時間で事前に質問を考えたかったです。
- ・こちらも観ることができませんでした。後日 Youtube にアップされるという事なので、ぜひそちらで視聴させていただきます。
- ・Zoom では所々音声が聞き取り難いところがありました。

2023年11月26日（日）オンライン公開講座

「あなたを支えます がんリハビリテーション ～いっしょに動いてみましょう！～」

**今後、NPO 法人がんと共に生きる会の公開講座や勉強会で取上げてほしい内容、その他ご希望やお気づきの点があれば、ご記入ください。**

◆リハビリ・骨転移についての続編を希望

- ・がんリハビリテーションの取組みを追っていかれてほしいと存じます。
- ・いろいろなリハビリテーションの方法
- ・リハビリをこんなに深く聞いたのは初めてでした。また、よろしく願います。
- ・がんと共に生きる会の Youtube チャンネルは登録して、いつも楽しみにしています。今回のリハビリについては、様々な部位の手術後のリハビリなど、ぜひ続編をお願いしたいです。
- ・患者の家族が行なえるサポートや日頃の家などで取り組みができるリハビリ方法などがあれば取り上げて頂きたく思います。
- ・骨転移のお話が出ました。社員にも骨転移患者がいるので、また情報を教えていただきたいと  
思います。

◆がん患者・家族の精神的なこと

"・がんの告知を受けるだけでも計り知れないストレスですが、その後の治療や日々の生活の中でのストレスも少なからずあろうかと思えます。

そのような精神的な心理的な課題への対応などについても、いつの日か情報をいただける機会があれば幸甚に存じます。"

・①ACP（アドバンス・ケア・プランニング）の具体的事例、②アドバンス・ディレクティブ（リビング・ウィルと代理決定者の委任）の具体例、③グリーフケアの具体例、④①～③に関連して、医療ソーシャルワーカーの仕事の具体例など

・患者、家族、遺族のメンタルケア。友人であっても、親しい人を亡くすと立ち直れないものです。

◆最新情報・お金

・ゲノムなどでない、まだよく知られていない新しい治療法の解説。臨床試験など。

"・新しい治験、新薬抗がん剤、癌患者の希望となる最新の情報を知りたいと願っております。ますますのご発展を！"

・患者の AI、IT 活用について。年代や環境によって格差があります。

・最新の情報のお知らせもあれば良いかなと思います。

・最新の情報等、お知らせいただけたらありがたいです。

・「お金の勉強会」があれば参加したいです。特にがん患者になったり、体の不自由な高齢者になったりした場合、どういうことにどれくらいお金がかかるのか、知りたいです。

◆開催方法に対する提案

・今回のような医療従事者と患者会のディスカッションを、課題を抱えているテーマを決めて取り上げて欲しいです。

2023年11月26日（日）オンライン公開講座

「あなたを支えます がんリハビリテーション ～いっしょに動いてみましょう！～」

・遠方の人や体調の良くない人（家族）でも参加できるように、今後もオンラインセミナーの形で開催していただけるようお願いいたします。

◆その他

"・皆さんがやる気があるのがわかります。患者が声を上げる、ということばに興味を持ちました。どのようなことから始めれば良いでしょうか。

是非応援したいです。"

- ・このような、患者が日常生活を不自由なく過ごすためのヒントになる企画
- ・①総長（がん、目的でなく手段）✕孫大輔監督（鳥取大学 地域医療学講座）の対話と「うちげでいきたい」在宅見とり映画の上映。②「社会参加（田宮部長）」のメッセージから、「大阪えまちプロジェクト」（ゼロ次予防チームで参加中）につなげていきたいと思います。
- ・お知らせありがとうございました m(\_ \_)m 今後ともどうぞよろしくお願いいたします。
- ・また、企画よろしく願いたいします。
- ・様々なテーマがあり勉強になります ありがとうございます
- ・がんと共に生きる会の他の Youtube 動画を視聴させて頂いて、どれも興味深い内容で、いつも楽しみにしています。これからもよろしくお願いいたします。